

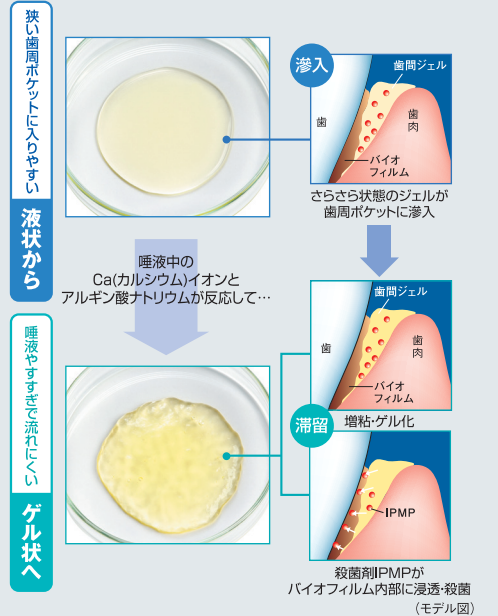
## システム薬用歯間ジェルの特長

### ●2つの殺菌成分がバイオフィルムを効果的に浸透・殺菌して歯肉炎を予防

バイオフィルム内部まで浸透・殺菌するIPMP(インプロピルメチルフェノール)、浮遊性細菌、バイオフィルム表面を殺菌するCPC(塩化セチルピリジニウム)を配合。2つの殺菌成分で優れた殺菌効果を発揮します。

### ●さらさら状態のジェルがゲル化して、薬用成分が長くとどまります。

基剤中のアルギン酸Na(ナトリウム)が、唾液中のCa(カルシウム)イオンと反応し、増粘・ゲル化して、歯間部にとどまります。

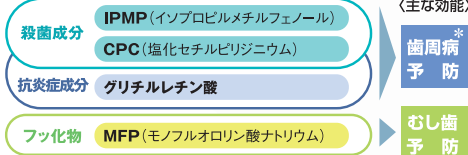


## 歯周病とバイオフィルム

歯周病菌に効果的な殺菌成分は存在しますが、実際は口の中でなかなか効果を発揮できません。その原因は、歯周病菌の巣<バイオフィルム>。歯周ポケット内の細菌は単体で存在するのではなく、複数の細菌が共生体(コロニー)となって外側を取り囲む強固な膜を作り、殺菌剤をはなつけています。システム薬用歯間ジェルは、バイオフィルムに浸透・殺菌するIPMPと抗炎症成分を配合。歯周病予防に効果を発揮します。



■4つの薬用成分が効果的に働きます。



\*歯周病は、歯肉炎・歯周炎の総称です。

詳しい製品情報はコチラ



ライオン歯科材料株式会社 2021.02.50-05



患者様用リーフレット

歯科用 医薬部外品

# Systema

システム薬用歯間ジェル + フッ素

—リスク部位のポイントケア—



インプロピルメチルフェノール バイオフィルムに浸透・殺菌するIPMP配合

# LION

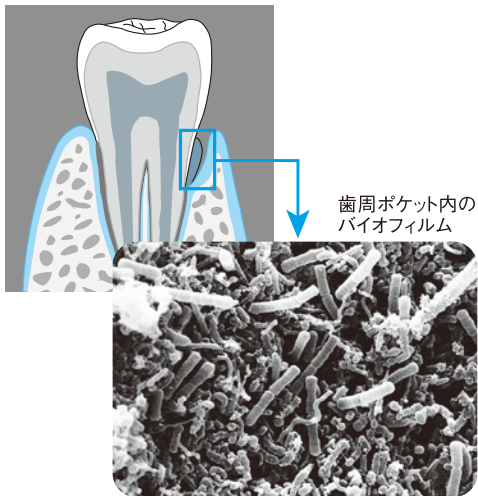
# 歯間ブラシやワンタフトブラシと一緒に使用し、歯周病になりやすい部位を集中的にケアしましょう。

\*歯周病は、歯肉炎・歯周炎の総称です。

## 歯周病菌の巣(バイオフィーム)

(オーラルバイオフィーム=デンタルブラーク)

歯周病菌は酸素を嫌うため酸素の少ない歯と歯ぐきのすき間(歯周ポケット)に潜り込んで増殖し、フィルム状の塊となって歯面に強固に付着します。この歯周病菌の巣(バイオフィーム)を放置するとさらに増殖を繰り返し、放出された毒素により歯周病になってしまいます。



歯周ポケット内のバイオフィーム

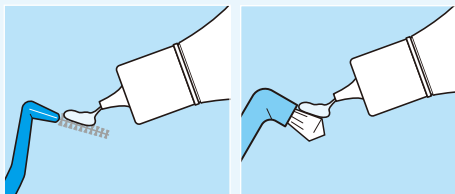
写真提供:大阪大学大学院歯学研究科  
恵比須 繁之教授

歯ブラシの毛先が届きにくい歯と歯の間(歯間部)は歯周病が進行しやすい場所であり、「歯間清掃用具」と「システム薬用歯間ジェル」を用いてブラッシングし、歯周病菌の巣(バイオフィーム)を作らせないようにすることが重要です。

## 使用方法

歯間ブラシやワンタフトブラシなどの部分清掃用具と一緒に使用し、歯間部をはじめ、歯と歯ぐきの境目(歯頸部)や歯周ポケットを集中的にブラッシングしてください。

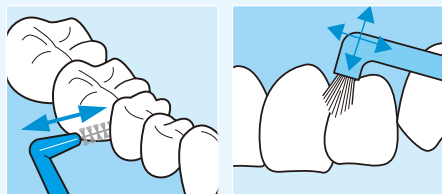
### 1 ブラシに本品を適量(垂れない程度の量)のせます。



- 容器の先端が細いノズルになっており、小さなブラシにもジェルをのせやすくなっています。
- 多くの部位を続けてケアする場合は、部位ごとにブラシを水で洗浄し、そのつどジェルをのせてください。
- あらかじめ適量を小さなスプーンなどにとり、ブラシですくい取るようにしてつける方法も便利です。

★ご注意:本品には研磨剤や発泡剤が配合されていません。歯間部・歯頸部や歯周ポケットなどの特定部位をブラッシング(ブラークコントロール)する場合にお使いいただくとう効果的です。

### 2 ブラッシングします。



#### 歯間ブラシの場合

- ①無理のないようにブラシを歯間に挿入します。
- ②歯頸部にブラシの毛先が当たるよう、ブラシの方向と角度に注意しながら、細かく前後に動かします。

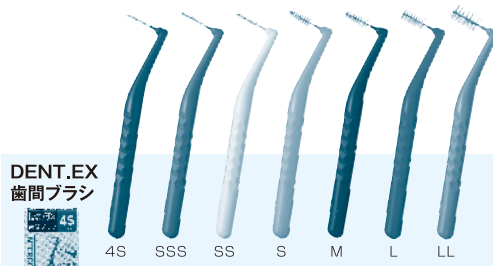
#### ワンタフトブラシや歯ブラシの場合

- ①毛先をケアしたい部位(歯頸部や歯周ポケット)に当てます。
- ②軽い力でブラシを小刻みに往復運動させ、やさしく磨いてください。

### 3 ブラッシング後は、水で軽く口をすすいでください。

\*ふつうの歯ブラシや電動ブラシでもご使用になれます。

## おすすめのケア用品



### DENT.EX 歯間ブラシ



※写真は4S

- 折れにくい超合金SAファイバーを採用
- 挿入しやすい110°アングルネック
- 歯間サイズで選べる豊富なラインナップ

### DENT.EX onetuft



※写真はSystema Short

- 磨き残しがちな部位の部分磨き用歯ブラシ(歯間部・歯頸部・最後臼歯遠心部・歯周ポケット・矯正装置周辺など)

